

2023 環境社会活動報告書

仙台トヨタペット

社訓

日本一のカーディーラー「仙台トヨペット」で働くプロとして

- 一、 私たちは お客様に感謝し 笑顔・元気・真心をお届けします
- 一、 私たちは 仲間と家族の支えに感謝し 誠心誠意努力します
- 一、 私たちは 自信と誇りを持ち 夢に向かって挑戦します
- 一、 私たちは 清潔で居心地の良い空間を提供します

目次

| | |
|-----------------------|-------|
| トップメッセージ | P. 1 |
| 仙台トヨペット CSR 基本方針・環境方針 | P. 2 |
| 宮城の特徴 | P. 3 |
| 会社概要 | P. 4 |
| 県内ネットワーク | P. 5 |
| 2022 年度実施計画 | P. 6 |
| ISO 規格認証審査 | P. 7 |
| 重点管理設備の維持管理 | P. 8 |
| 緊急事態想定訓練 | P. 9 |
| 関連法令 | P. 10 |
| 原油換算値・CO2 排出量 | P. 11 |
| エネルギー使用量・光熱用水費 | P. 12 |
| 廃棄物排出量及び処理費用の推移 | P. 13 |
| エコ商品販売と業務効率アップ | P. 14 |
| テクノショップの維持管理活動 | P. 15 |
| CSR 活動 | P. 16 |
| 環境・社会活動歴 | P. 17 |

環境経営責任者
仙台トヨペット株式会社
代表取締役社長 佐藤 秀之



当社は2003年4月に環境マネジメント「ISO14001」を認証され、企業として環境を意識した取り組みと地域に密着した活動を継続して、今年で20年目となります。環境に関わる法規制を遵守し、PDCAを繰り返しながらISO14001の運用を計画的に進めると共に、継続的な地域社会貢献と環境保護改善活動、循環型社会の形成に積極的に取り組んでいます。

ここ数年、世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルスの感染拡大に起因する車両製造工場の生産停止・減産、車両の長納期化、そして受注制限と自動車販売店にとっては大変厳しい状況が続いています。これに対しメーカーと販売店は流通の新システムの導入やこまめにお客様との情報の共有を図り、納期の短縮化やお客様の不安の解消に取り組んでいます。また環境をテーマにした国際会議でも取り上げられていますが、世界的な気候変動による記録的な猛暑が続き、台風などにより局地的豪雨による水害が多く発生するなど、私たちの生活環境への影響が出てきています。

現在、温暖化をはじめとする環境問題対応として、世界経済の中心の自動車産業は、カーボンニュートラルに向けた取り組みなど「環境対応体制」への転換が求められています。このように環境が目まぐるしく変化する中で、お客様のニーズも多様化しており、私たちもお客様のニーズをしっかりと捉え、的確な提案をタイムリーに行うことでお客様との信頼関係を深めて参ります。そのためにもスタッフ一人一人の思考を切り替えていく必要があると考えています。常にお客様への感謝の気持ちを忘れず、そして仲間を思いやる気持ちとチームプレーで更なる信頼を獲得して参ります。

今後も「お客様に愛され信頼される会社」として環境活動を継続して参ります。当社のISO活動をこの「環境社会活動報告書」にまとめました。

これまでの活動をご覧いただき、皆様からの忌憚のないご意見をおきかせいただければ幸いです。

CSR基本方針

当社は、これから踏み出す「新たな半世紀」を一人ひとりが会社の顔であることを自覚し、人財の名にふさわしい効働と感理で「絶対値で良い会社」を目指してまいります。

一方、人と車に関わる事業活動を通じて、地域社会から信頼され、共に持続的に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した商品とサービスを提供するとともに、「企業の社会的責任」を果たすため、次の項目を実践してまいります。

- 1 法令の遵守をはじめ、公正・公平で、倫理的に正しい行動を最優先とします。
- 2 良き企業市民として、地域における諸活動への参加をはじめ、広く社会に貢献する活動に積極的に取り組みます。
- 3 地域環境に配慮した事業活動を展開すると共に、資源の有効活用や省エネルギーを推進することにより、地球環境の保護に務めます。

環境方針

CSR基本方針に基づき環境管理活動を環境マネジメントシステムに則り、実施していくため下記の事項を定める。

- 1 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目的・環境目標を定めて、全社員で継続的な環境改善に取り組む。
- 2 環境に関する法律・規制・協定等を遵守し、環境保護レベルの向上を図る。
- 3 環境保護は発生源対策が基本と考え、事業活動の全ての領域で、省資源・省エネルギー・リサイクルの推進を図りCO2の削減と汚染の予防に努める。
- 4 計画的な環境教育および啓発活動により、全社員に環境方針と環境保護を徹底すると共に、環境監査を実施して、環境管理の維持徹底を図る。
- 5 お客さまに車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車・低公害車の普及を図る。一方、地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護の活動に協力する。
- 6 環境マネジメントシステムを活用し、経営の効率化やコストダウンに役立つ活動を展開する。

企業倫理体系

経営理念

- ・ たゆまぬ革新の精神を持ち 先見性と創造力あふれる人財を育成する
- ・ 人を基軸とした自動車サービス事業を総合的に展開する
- ・ 環境に優しく安全で快適な社会づくりに貢献し 地域と共に発展する

会社方針（社是）

- ・ 仕事に熱意を持つ
- ・ 社会に対する奉仕と信用を重んじよう
- ・ 社内の融和を計り、正しく明るく生きよう
- ・ 公正な利潤を求め社会的責任を果そう
- ・ 業績の健全な伸長を達成し、会社の発展と社員の生活の向上を計ろう

行動基準

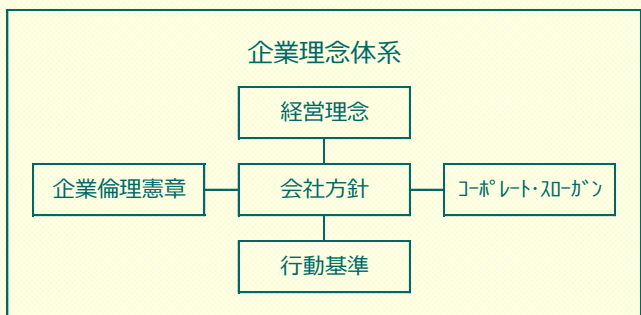
- ・ コンプライアンスを遵守し 正確かつ迅速に業務を遂行する
- ・ 自らの使命 役割 責任を自覚し まっすぐひたむきに努力する
- ・ お客様には真心をもって 珠玉のおもてなしで接する

企業倫理憲章

- ・ 法令の遵守をはじめ、公正・公平で倫理的に正しい行動を行う
- ・ 良き企業市民として地域における諸活動への参加をはじめ、広く社会に貢献する活動に積極的に取り組む
- ・ 自然環境に配慮した事業活動を展開するとともに、資源の有効活用や省エネルギーを推進することにより、地球環境の保全に努める

コーポレート・スローガン

- ・ 質実剛健経営を推進し、お客様の視点に立った感性豊かな参画者集団を目指す



宮城の特徴



位置・地勢

宮城県は、東北地方の東南部に位置し、西は秋田県、山形県、南は福島県、北は岩手県に接しています。西部一帯は、1,500m以上の標高を有する奥羽山脈が連なり、刈田岳(1,758m)、船形山(1,500m)、栗駒山(1,627m)等の諸峰がそびえています。また、北東部には北上高地、南部には阿武隈高地が走り、これらの間には標高100m前後の丘陵地と北上川、鳴瀬川、名取川、阿武隈川などによってつくられた豊かな穀倉地帯である東北一の沖積平野が広がっています。海岸は太平洋に面し、牡鹿半島を境に北部は複雑なリアス式海岸が続き、南部は砂浜の続く平滑な海岸線となっています。

面積・人口・世帯数

面積：7,282 km² [786 km² 10.8%]
人口：2,248,315人 [1,098,335人 48.9%]
世帯数：1,042,816世帯 [544,922世帯 52.3%]
※〔 〕内仙台市2023年7月1日現在 宮城県統計課資料

文化財・街並み



大崎八幡宮

国宝の本殿は1607年伊達政宗により建立され、絢爛豪華な桃山建築を象徴する最古の建造物です。粋を凝らした社殿の造りは、後に日光東照宮に引き継がれました。



瑞巖寺

平安時代に創建された延福寺を1609年伊達政宗が造営し、寺名を瑞巖寺に改めました。国宝の本堂は、桃山様式を取入れた書院造になっています。



勾当台公園

伊達政宗が寵愛した狂歌師・花村勾当の屋敷があったことに由来しています。江戸時代には藩校である「養賢堂」があり、仙台藩の学問の中心地になっていました。



定禅寺通り

江戸時代に伊達政宗が仙台城の鬼門の祈願寺として定禅寺を建立しました。1958年(昭和33年)ケヤキを植樹、仙台市はこのケヤキ並木を50年保存樹林に指定しています。

産業

宮城県は、肥沃な沖積平野が広がる穀倉地帯で「ひとめぼれ」「ササニシキ」などを生産する国内有数の米どころです。また三陸沖には親潮と黒潮の潮目が重なる世界有数の漁場があり、カツオ、サンマをはじめ様々な漁が行なわれ、沿岸では、カキ、ホヤの養殖など水産業も盛んな地域です。

工芸品・名産品



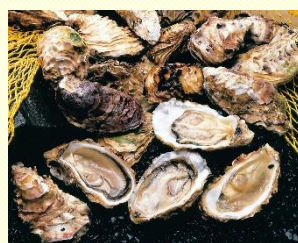
仙台筆筒



松川だるま

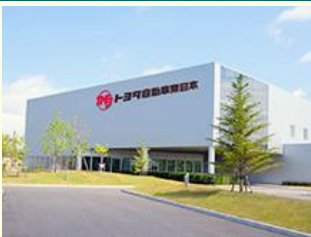


ずんだ餅



松島牡蠣

トヨタ自動車東日本



トヨタ自動車東日本
本社/宮城大衡工場

トヨタ自動車東日本は、お客様・社会・環境との調和を図りながら、トヨタグループのグローバルビジョン実現の一翼を担っています。大衡工場では、コンパクトカーのエンジン・ハイブリッドユニット・車両の開発を行っており、ヤリスクロス・シエンタ・カローラアクシオ・カローラフィールダーを生産しています。

会社概要

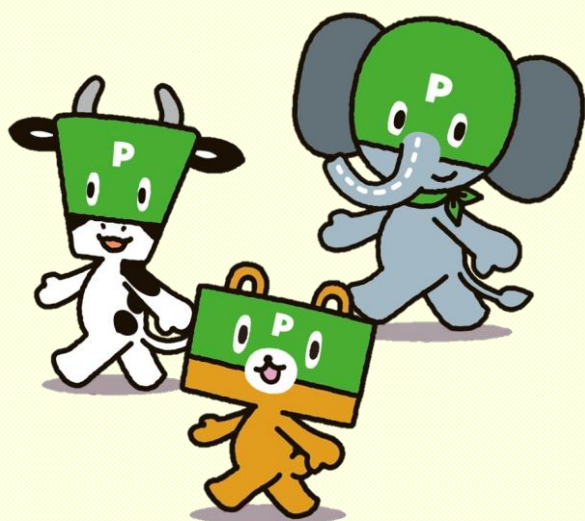


| | | |
|------|---|------------|
| 社名 | 仙台トヨペット株式会社 | |
| 所在地 | 宮城県仙台市宮城野区苦竹2丁目8番1号 | |
| 設立 | 1956年4月 | |
| 資本金 | 14億2400万円 | |
| 代表者 | 代表取締役会長 亀井 文行 代表取締役社長 佐藤 秀之 | |
| 売上高 | 2022年度売上 | 315億4083万円 |
| | 新車販売台数 | 8,231台 |
| | レクサス販売台数 | 272台 |
| | 中古車小売販売台数 | 1,442台 |
| | サービス売上高 | 47億9214万円 |
| 社員数 | 493名(2023年3月末現在) | |
| 事業内容 | 自動車の販売および自動車の整備、 自動車部品、用品の販売 レクサス事業 携帯電話等の販売、 各種損害保険、積立保険の販売 | |
| 関連企業 | カメイ株式会社 仙山テクノクラフト株式会社 株式会社 トヨタレンタリース仙台 株式会社 ジェームス仙台 山形トヨペット株式会社 株式会社 宮城テレビ放送 他 | |

県内ネットワーク

仙台エリア

| | |
|------------|--|
| 本部 | 仙台市宮城野区苦竹 2-8-1 Tel.022-232-1111 |
| 本社 | 仙台市宮城野区苦竹 2-8-1 Tel.022-232-1116 |
| レクサス宮城野 | 仙台市宮城野区苦竹 2-7-15 Tel.022-283-1000 |
| 宮城野中古車センター | 仙台市宮城野区日の出町 1-1-1 Tel.022-232-1110 |
| 仙台中央店 | 仙台市青葉区木町通 2-3-1 Tel.022-272-1000 |
| 車画廊一番町 | 仙台市青葉区一番町 1-1-41 Tel.022-726-6033 |
| 長町インター店 | 仙台市太白区郡山 4-12-15 Tel.022-247-1100 |
| 西多賀店 | 仙台市太白区鉤取字向原前 1-5 Tel.022-244-1000 |
| 八乙女店 | 仙台市泉区八乙女中央 1-2-1 Tel.022-373-8165 |
| 長命ヶ丘店 | 仙台市泉区長命ヶ丘 3-30-1 Tel.022-378-6666 |
| 泉インター店 | 仙台市泉区泉ヶ丘 2-1-1 Tel.022-346-7277 |
| 大和大衡店 | 黒川郡大和町吉岡まほろば 1-2-1 Tel.022-345-5501 |
| 塩釜店 | 多賀城市下馬 5-4-38 Tel.022-362-6326 |
| 名取パーク店 | 名取市田高字沢目 63-1 Tel.022-384-1000 |



県北エリア

| | |
|-------------|--|
| 石巻店 | 石巻市大街道西 1-2-39 Tel.0225-95-0126 |
| レクサス CPO 石巻 | 石巻市大街道西 3-1-5 Tel.0225-25-7280 |
| 古川店 | 大崎市古川中里 2-9-68 Tel.0229-22-2391 |
| 栗原築館店 | 栗原市築館藤木 6-33 Tel.0228-22-2651 |
| ダイハツ栗原築館 | 栗原市志波姫堀口宮中 114-2 Tel.0228-24-8696 |
| 登米佐沼店 | 登米市迫町佐沼字梅ノ木 5-1-13 Tel.0220-22-2146 |
| 気仙沼店 | 気仙沼市本郷 10-11 Tel.0226-22-5770 |

県南エリア

| | |
|--------------------|--------------------------------------|
| 岩沼店 | 岩沼市末広 1-3-10 Tel.0223-22-1511 |
| 大河原バイパス店 | 柴田郡大河原町字新南 63-17 Tel.0224-52-3301 |
| 大河原バイパス 中古車センター | 柴田郡大河原町字新南 55-3 Tel.0224-87-6251 |
| 白石蔵王店 | 白石市福岡長袋字坂下 24-1 Tel.0224-25-3512 |

2022 年度 実施計画

実施計画 (A) 改善活動

リスク及び機会

| 環 境 目 標 | 実 施 事 項 |
|---------|--|
| ・作業事故削減 | ・サービス本部の巡回指導 ・トレーナー研修による意識啓蒙 |
| ・交通事故削減 | ・公安委員会による社内講習 ・本部の巡回指導 ・本社集合研修による意識啓蒙 |

著しい環境側面 (有益)

| 環 境 目 標 | 実 施 事 項 | 実績 |
|------------------------------------|--|--------|
| ・新車直販下取率の向上【本部取組】 *直販下取り率 65%以上 | ・テリ内管理顧客フォローによる査定定義管理及び拠点個別指導 ・新車下取支援による代替促進、小売在庫の確保 | 53.7% |
| ・部品返品率の低減【本部取組】 *発注件数の 0.6%未満 | ・拠点の返品状況把握と指導 ・部品業務改善拠点の拡大 | 0.45% |
| ・紙使用量の削減【本部取組】 *前年比 97%以下 | ・各拠点の紙使用量削減取組み | 105.1% |
| ・1・6 無点の 100%入庫 *入庫率 90%以上 | ・i-CROP-J の管理で担当スタッフへの勧告、指導 | 79.6% |
| ・新車スマイルパスポートの推販 *個人販売の 90%以上 | ・スマイルパスポート加入実績の把握及び個別指導 ・スマイルパスポート加入に応じた販促支援 | 81.7% |
| ・整備車両の再修理の低減 *整備台数の 0.15%未満 | ・再修理の傾向把握とサービス会議・トレーナー会議時再発防止教育 ・再修理報告時、タイムリーな再発防止の拠点指導 | 0.03% |
| ・電力使用量の削減 *前年比 95%以下 | ・サービス入庫の平準化による作業効率化を推進 ・空調・照明節減に向け、利用時間を設定し通知 | 96.0% |

実施計画 (B) 管理活動

リスク及び機会

| 環 境 目 標 | 実 施 事 項 |
|-----------------------------|---------|
| ・働き方の変革 | ・残業時間管理 |
| ・EMS 構成員の突然の退職による 技術伝承不足 | ・力量保持教育 |

著しい環境側面 (有害)

| 環 境 目 標 | 実 施 事 項 |
|--------------|-----------------------------------|
| ・近隣住民増加による配慮 | ・近隣訪問によるコミュニケーション ・定期的な環境騒音の測定 |
| ・有害物・産廃物の管理 | ・重点管理設備点検 |

順守義務

| 環 境 目 標 | 実 施 事 項 |
|---------------|-------------------|
| ・指定整備の適正運営の管理 | ・社内業務規程に基づいた作業の徹底 |

ISO 規格認証審査

2004年以降、外部審査機関 日本自動車研究所（JARI - RB）による規格適合審査を毎年受審し ISO14001 規格認証を更新・継続しております。
 2023年2月にも定期審査を受審し、当社環境活動の ISO 規格適合が認められました。
 これからも環境マネジメントシステムにより、環境保護、コンプライアンスに努めて参ります。
 ※2021年以降、ウイルス感染拡大防止の観点からリモートで審査を受審しております。
 ※画像は、2020年2月定期審査の様子



記録文書類の保管状況
 < 泉インター店 >



店舗のハザードポイント
 < 泉インター店 >



重要設備の監視計器類
 < 泉インター店 >



廃油タンク警報装置
 < レクサス宮城野 >



オイル圧送配管の管理方法
 < レクサス宮城野 >



産廃保管・管理状況
 < 石巻店 >

ISO14001:2015 / JISQ14001:2015 認証登録

登録証

登録番号: JAER0557
 仙台トヨペット株式会社
 宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目8-1

登録範囲: 自動車の販売、整備及び修理
 適用規格: ISO 14001:2015 / JIS Q 14001:2015

貴事業所の環境マネジメントシステムは当認証センターによる審査の結果、適用規格に適合していることが認められましたので、ここに登録します。

登録範囲の詳細
 ・詳細は付属書に記す。

初回登録: 2004年3月19日
 更新登録: 2022年3月19日
 有効期限: 2025年3月18日

一般財団法人 日本自動車研究所
 東京都港区赤坂1丁目8番12号
 発行日: 2022年3月19日
 発行番号: 0557P-01

理事長 坂本 秀行
 認証センター 上級経営管理者 中野 節

付属書

登録番号: JAER0557
 仙台トヨペット株式会社

※本 部: 宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目8-1
 【自動車の販売、整備及び修理の中心管理機能】
 ・本 店: 宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目8-1
 ・本 多 分 店: 宮城県仙台市太白区駒の字向原1-5
 ・泉 店: 宮城県多賀城市若木7丁目4-8
 ・宮 野 店: 宮城県東宮市橋本6-33
 ・自 立 支 店: 宮城県仙台市青葉区南2-24-1
 ・株式会社トヨタレンタリース仙台 本社及び本店
 ・宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目8-1
 ・八 乙 女 店: 宮城県仙台市宮城野区八乙女中央1丁目2-1
 ・仙 台 中 島 店: 宮城県仙台市青葉区中島2丁目2-1
 ・長 巻 町 店: 宮城県仙台市宮城野区長巻町3丁目30-1
 ・泉 野 店: 宮城県仙台市太白区泉野4丁目14-15
 ・名 取 一 丁 店: 宮城県名取市南高字1-63-1
 ・石 巻 店: 宮城県石巻市本町11-1
 ・気 仙 南 店: 宮城県気仙沼市本町11-1
 ・吉 岡 店: 宮城県大崎郡吉岡町吉岡2丁目3-6
 ・盛 岡 店: 宮城県盛岡市山形(旧山形)南1丁目1-13
 ・管 野 店: 宮城県仙台市若林区丁字3-15
 ・光 野 店: 宮城県仙台市若林区光野63-17
 ・レクサス宮城野: 宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目7-15
 ・大 和 支 店: 宮城県仙台市若林区大和1丁目2-1
 ・泉 インター 店: 宮城県仙台市宮城野区若竹2丁目1-1
 【自動車の販売、整備及び修理】
 ・車 庫 一 番 町: 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目1-43
 【自動車の販売】

一般財団法人 日本自動車研究所
 東京都港区芝公園1丁目8番12号
 発行日: 2022年3月19日
 発行番号: 0557P-01

認証センター 上級経営管理者
 中野 節

登録番号: JAER0557

登録範囲: 自動車販売、
 整備及び修理

初回登録: 2004年3月19日

更新登録: 2022年3月19日

有効期限: 2025年3月18日

重点管理設備の維持管理



新油バルクタンク
500L・250Lの大容量のため
流出時の緊急訓練が重要



オイル圧送設備
圧力がかかる配管・バルブの
状態を点検



落下防止柵
地震時の落下に備えて
柵をセット



オイルドレーナー
廃油圧送ホースの状態を
点検



廃油地下タンク
廃油保管量を適正に管理
法定点検を定期的実施



廃油地上タンク
廃油保管量を適正に管理
防油堤を設置



エアコンプレッサー
専用室に設置
防振・防音対策済



スポットクーラー
フロンガス漏洩管理のため
フロン簡易点検を実施



門型洗車機
近隣への騒音へ配慮し
営業時間内のみ稼働



灯油タンク
送油配管からの油漏れ
防油堤の水抜栓の確認



産廃置場
資源リサイクルを考慮し
分別廃棄を徹底



油水分離槽
毎週点検により汚水状態の管理
定期水質調査・定期洗浄の実施

緊急事態想定訓練

抛店現場の特徴にあわせ、緊急事態を想定し有害物を敷地の外に出さないよう訓練を実施しています。緊急時に充分に対応できる様、実際の訓練では作業手順、緊急ボックス備品について検証し、改善を重ねています。



スタッフ全員で学科研修
緊急時の対応手順を確認



状況を再現して実地訓練
オイルに見立て水を流す



水の流れる方向を確認する
実際の液体の流れが分かった



マット・オイルフェンスでオイルを吸着させる
必要な備品と数量を確認する



土嚢・吸着マットを側溝に詰める
先回りして水路を塞ぐ



最良の手順を検討する
作業手順書に反映する

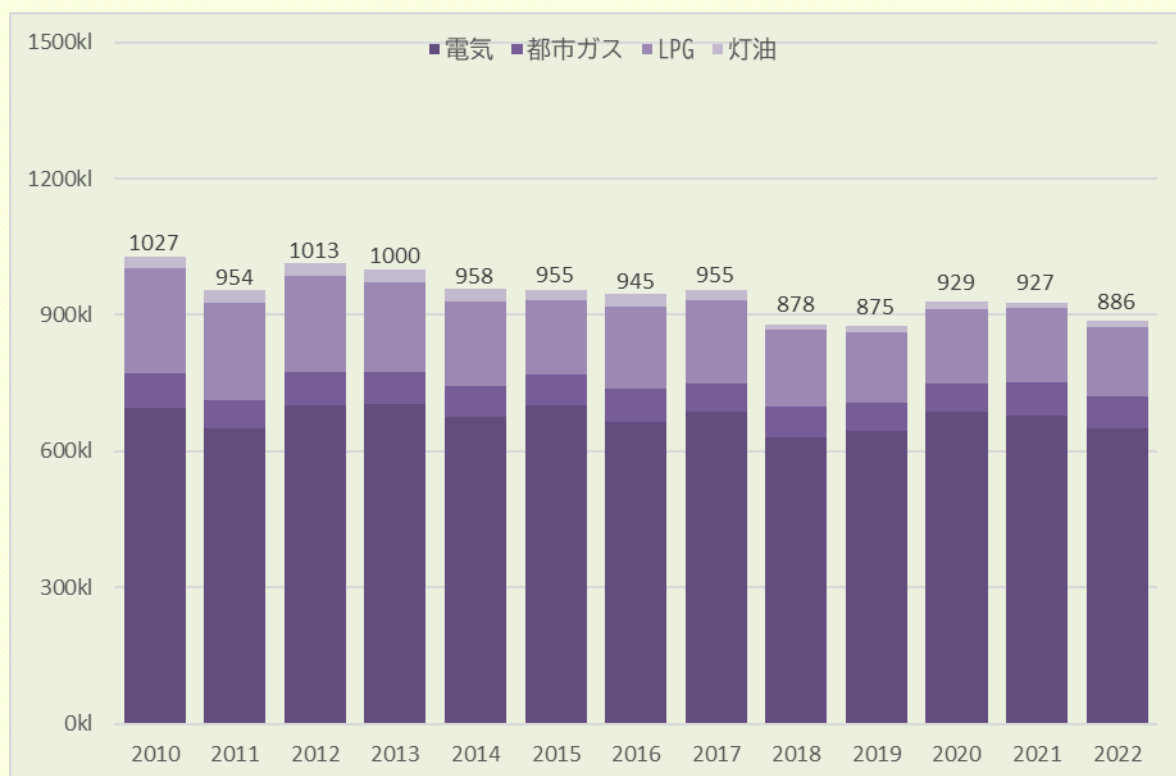
関連法令

* 当社に関連する主な法令・条例

| 法令・条例 | 適用 |
|-----------------------|--|
| 騒音・振動規制法 宮城県公害防止条例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定設備の設置を所轄官庁に届出 *エアコンプレッサー7.5kW 以上 ・ 6ヶ月毎自主的に騒音測定を実施し近隣の生活環境に配慮 |
| 水質汚濁防止法 宮城県公害防止条例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水基準に適合した水質の管理 (油水分離槽の管理) ・ 3ヶ月毎 (門型洗車機非設置拠店は6ヶ月毎) 水質測定 |
| 廃掃法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 産廃マニフェストの交付及び管理 ・ 産廃物の収集業者・中間処分業者との委託契約及び現地確認 |
| 消防法 (危険物) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 油脂類保管が指定数量比 0.2 以上 1.0 未満の場合、少量危険物貯蔵・取扱所の届出 ・ 地下タンク法定点検 (3年毎、設置 15 年以上は年 1 回) |
| 消防法 (消防設備) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備の設置を所轄の消防署へ届出 ・ 防火管理者の選任、消防設備の点検報告 |
| 道路運送車両法 (指定整備) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定自動車整備事業者の届出 ・ 保安基準適合証の交付実績報告 (年 2 回) |
| PRTR 法 (塗装業務) | <ul style="list-style-type: none"> ・ SDS (安全データシート) の入手、保管 ・ PRTR 法対象物質の排出量・移動量を所轄官庁へ報告 |
| 自動車リサイクル法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済自動車引取業者の登録 ・ 電子マニフェスト移動報告の適正管理 |
| フロン排出抑制法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一種特定製品 (業務用フロン使用機器) の簡易点検・定期点検の実施 |
| ビル衛生管理法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気環境の調整、給水の管理、排水の管理、清掃、ねずみ等の防除 |
| 宮城県簡易給水施設条例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯水槽 (5 m³以上) の設置を所轄官庁に届出 ・ 委託業者による年 1 回の点検、清掃及び水質の測定 |
| 浄化槽法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽の設置を所轄官庁に届出 ・ 定期保守点検及び年 1 回の清掃と水質の測定 |
| 電気事業法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託業者による受電設備の毎月の点検及び年度における総合点検の実施 |
| 建築物省エネ法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 非住宅 300 m²以上の新築増改築時、建築物エネルギー消費性能基準適用 |

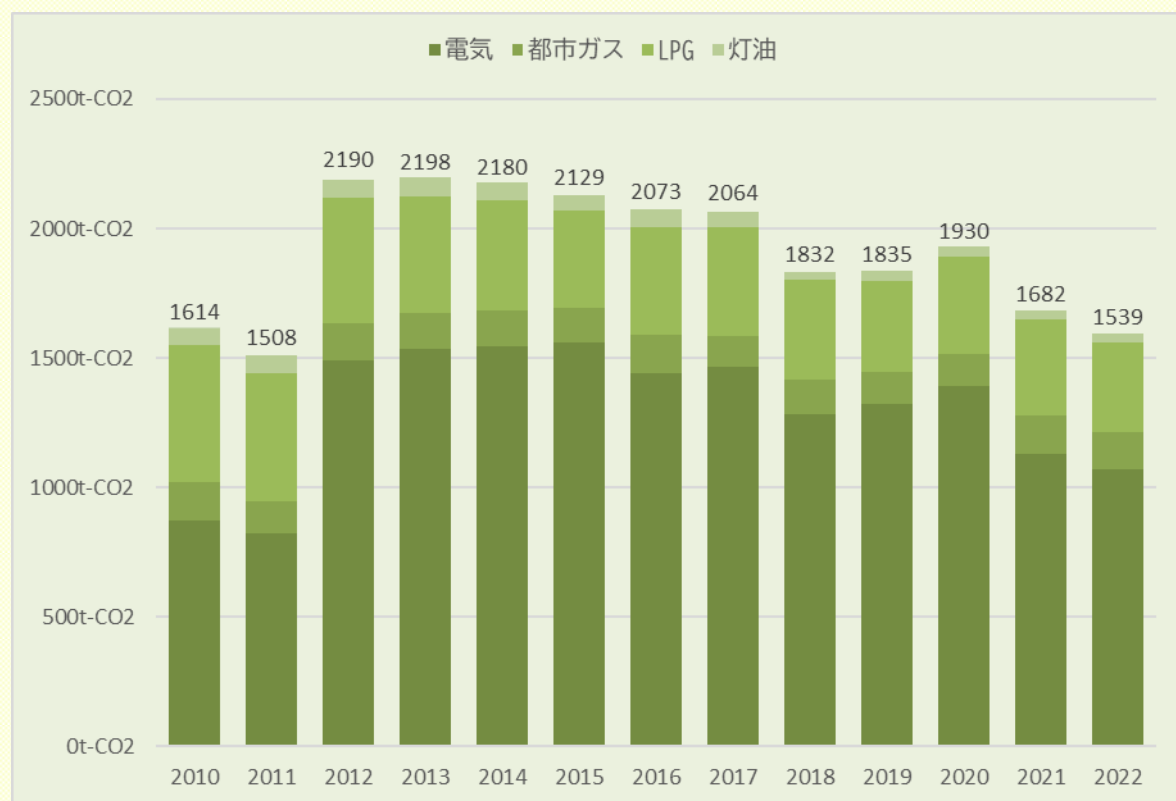
原油換算値・CO2 排出量

エネルギーの使用



- ・ 2022 年度 使用エネルギー原油換算値合計 886kl
- ※原油換算値が全事業所年度合計 1500kl 以下のため省エネ法特定事業所非該当
- ・ コロナ禍では、換気に配慮しながら効率の良い冷暖房を意識し省エネに努めています

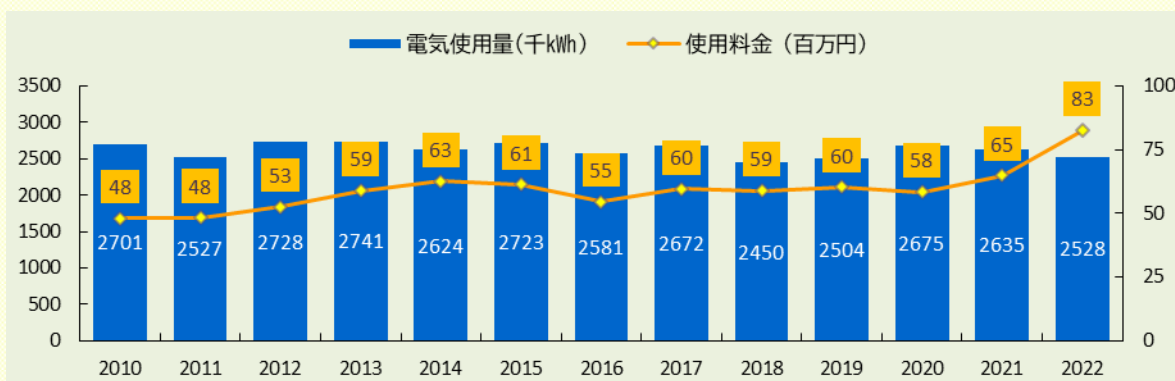
CO2の排出



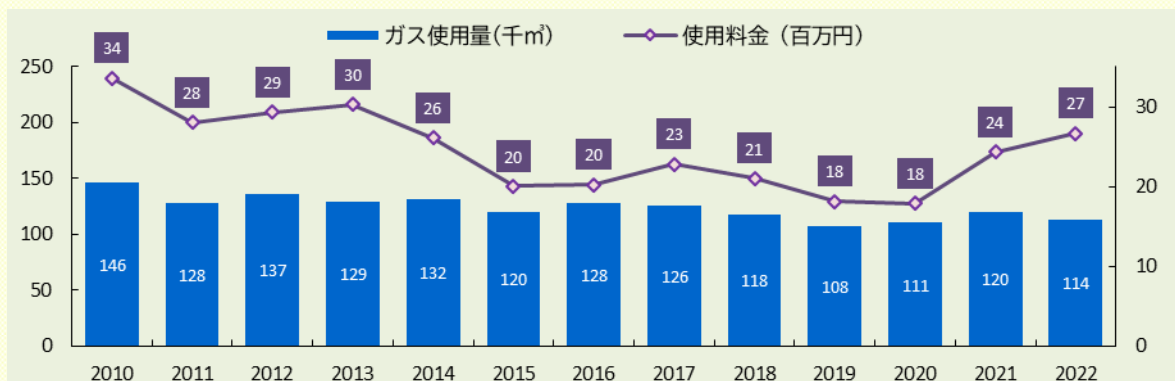
- ・ ソーラーパネルの導入、省エネ効果の高い設備への切替により CO2 削減に貢献しています

エネルギー使用量・光熱用水費

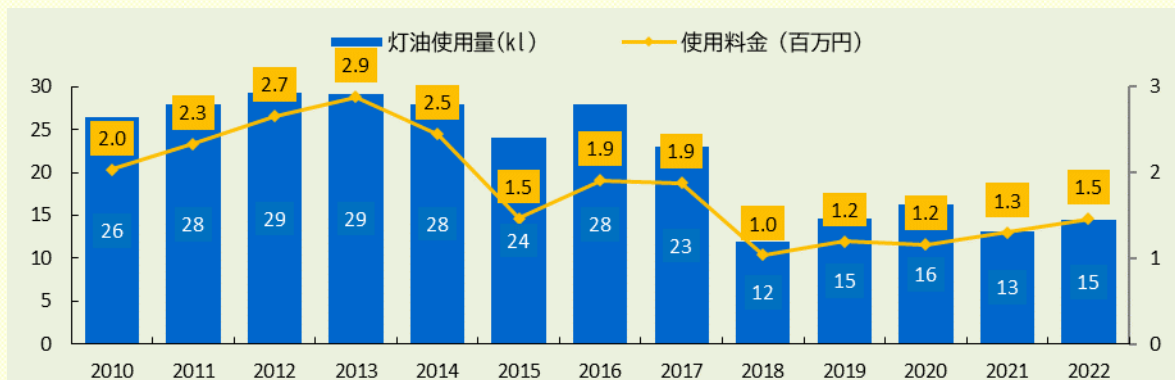
電気



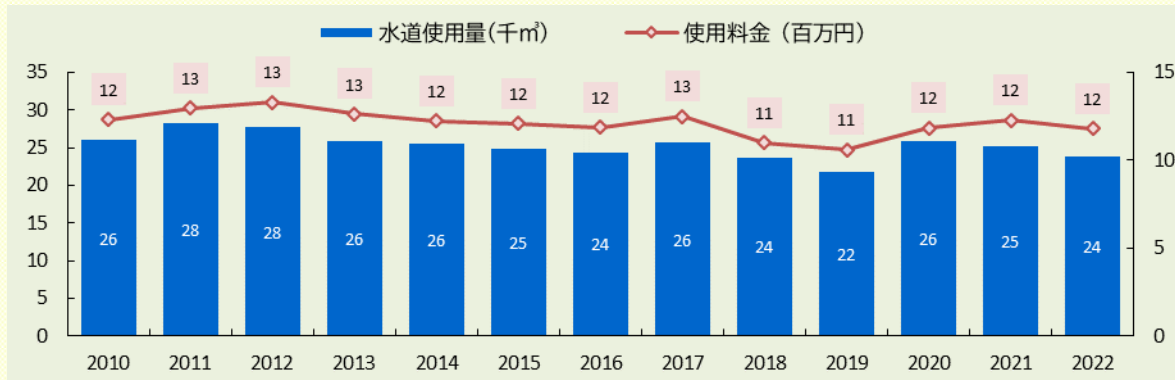
ガス



灯油

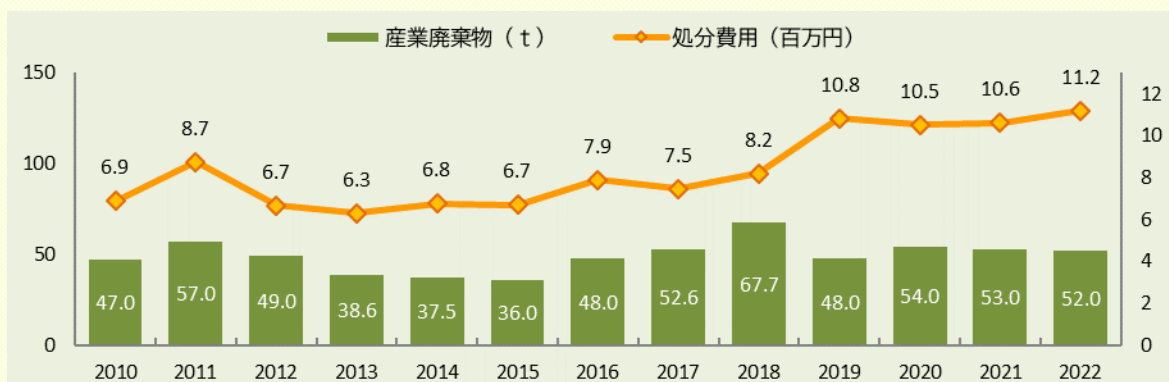


水道



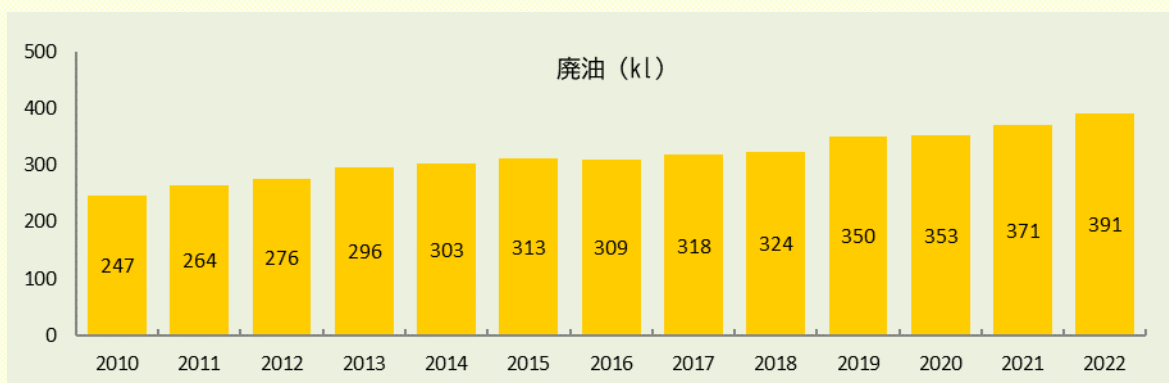
廃棄物排出量及び処理費用の推移

産業廃棄物



・金属クズ・廃プラスチック・廃タイヤ処分料の引上げにより処分費用が増加しています。

廃油



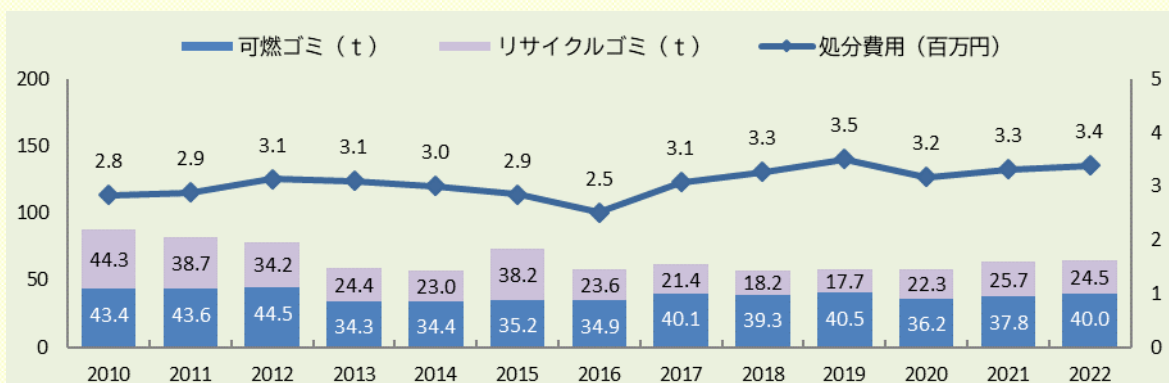
・スマイルパスポート加入増に伴い、定期オイル交換量が増えています 廃油は再生重油にリサイクルされます

汚泥



・油水分離槽は、ウィークリー点検、定期水質調査、定期清掃により管理しています

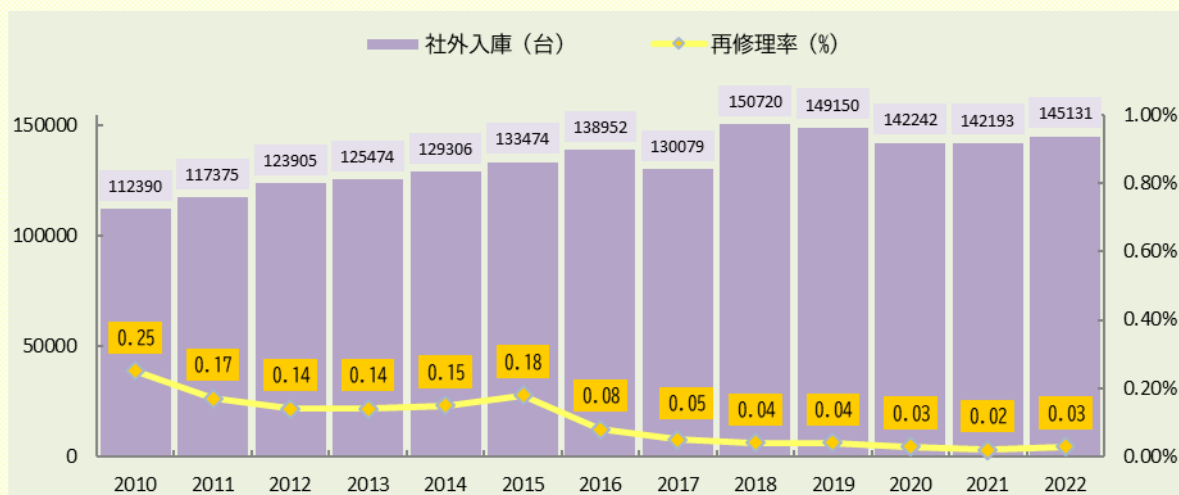
一般廃棄物



・廃棄物の分別により資源ゴミ比率を上げ一般ゴミ排出量を減らす取組をしています

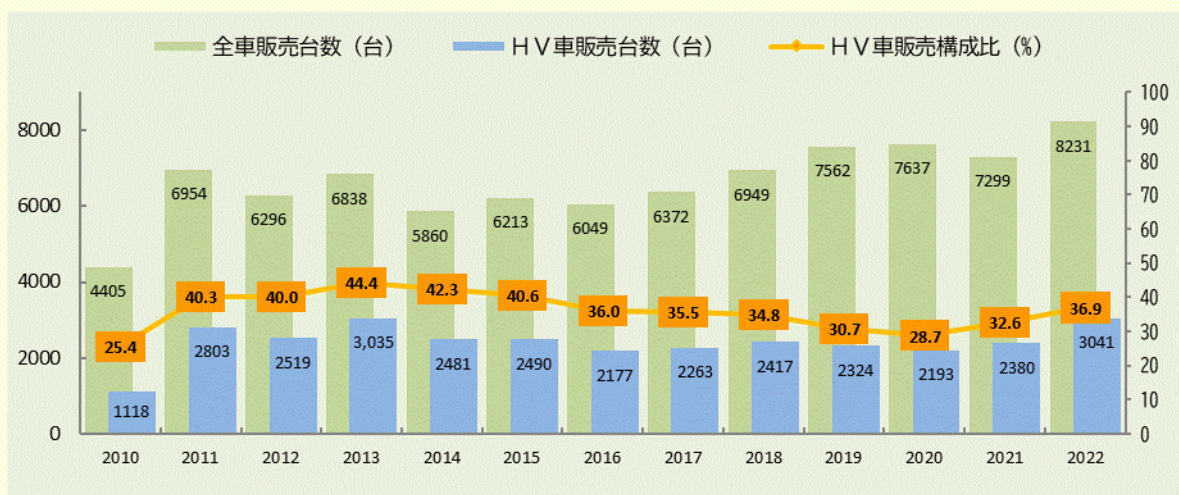
エコ商品販売と業務効率アップ

再修理率の低減



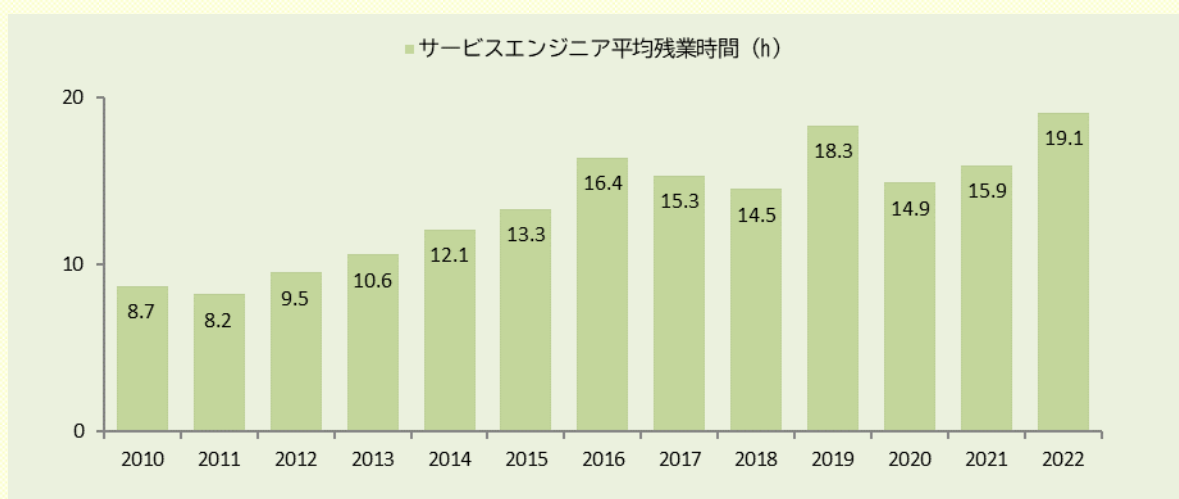
- ・再修理再発防止のため、原因・傾向を把握し店舗に指導を行っています。
- ・中間検査・最終検査を徹底し、再修理発生防止に努めています。

ハイブリッド車販売構成比の向上



- ・HVラインナップ増に伴い、乗用車のHV構成比が上がっています

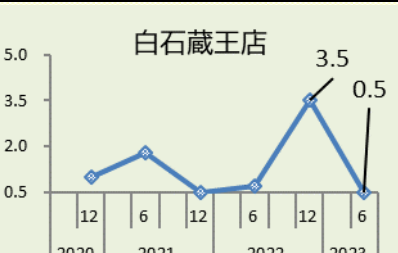
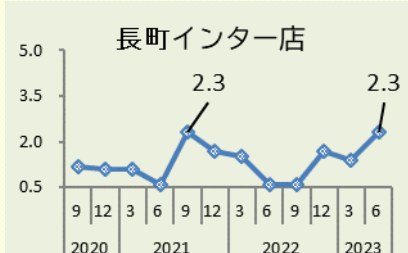
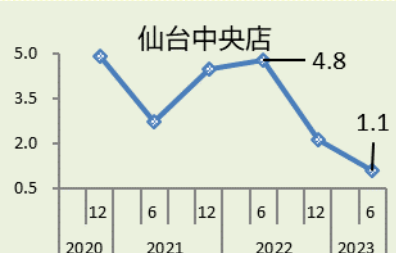
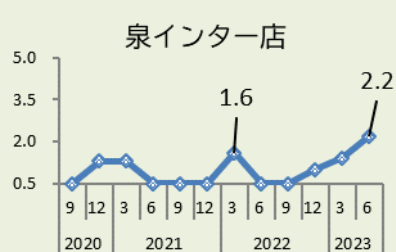
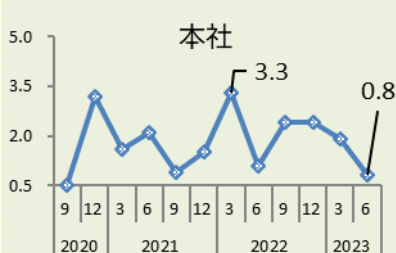
残業時間の短縮



- ・早期入庫予約を推進し6ヶ月先までのスケジュールを調整、残業削減に取り組んでいます。

テクノショップの維持管理活動

◇油水分離槽水質調査
ノルマルヘキサン値の推移
門型洗車機設置拠店は3ヶ月毎
その他は6ヶ月毎に外部機関の
水質検査により基準内を確認し
管理徹底しています。
※単位：縦軸 mg/l



CSR活動

パピヨングリーン基金

毎年、県内自治体にハイブリッド車を寄贈しています。2022年度は、白石市・松島町へそれぞれアクアを寄贈、2008年活動開始以降県内自治体への累計は26台となりました。



白石市 山田市長（左）



松島町 櫻井町長（右）

ふれあいグリーンキャンペーン

47回目の開催、アオダモ苗木を100本を県へ寄贈「みやぎバットの森」に植樹されます



村井宮城県知事（左）※2022年撮影

トヨタソーシャルフェス

2023年9月菖蒲田海水浴場に有志が集い、きれいな海水浴場を保つため清掃活動を行いました



100名を超える参加者の皆さま

オイスカ 東日本大震災復興 海岸林再生プロジェクト 支援

NGOオイスカ海岸林再生プロジェクトに賛同し、2012年11月の活動開始以降、寄付とボランティアにより活動を支援しています。※コロナ禍により2022度もボランティア参加は中断



2023年まで育林作業を継続



以前の松林の姿に戻るまで50年の歳月が必要

環境活動・CSR活動歴

| | 活動歴・主な出来事 | 備考 |
|------|-------------------------|----------------------------------|
| 2003 | ISO14001 キックオフ | ISO 推進室設置 第1回環境委員会開催 |
| 2004 | ISO14001 初回審査 | 宮城県カーディーラー初 ISO14001 認証取得 |
| 2005 | ISO14001 拡大審査 | 本社、栗原築館店、白石蔵王店に認証拠点を拡大 |
| | 「仙台国際ハーフマラソン大会」協賛 | 宮城県オールトヨタ 大会運営車両を提供 |
| 2006 | ISO14001 拡大審査（全拠店） | 東北・北海道カーディーラー初 ISO14001 全拠店認証取得 |
| | CSR への取組開始 | CSR 推進室設置 |
| 2007 | 「パピヨングリーン基金」設立 | 基金を活用し宮城県内自治体にハイブリッド車を寄贈 |
| | 「セーフティキャンペーン」取組 | 地域防災を目的とした取組に参画 |
| | ISO14001 更新審査（1回目） | 外部審査機関 JARI-RB による審査を受審 |
| 2008 | 岩手・宮城内陸地震 | 栗原地区マグニチュード 7.2 最大震度 6 強の地震発生 |
| 2010 | 「日本の蔵王ヒルクライム・IC」協賛 | 蔵王エコライン自転車ロードレースの伴走車を提供 |
| | ISO14001 更新審査（2回目） | 外部審査機関 JARI-RB による審査を受審 |
| 2011 | 東日本大震災 | 宮城県沖を震源にマグニチュード 9.0 最大震度 7 の地震発生 |
| 2012 | 「AQUA SOCIAL FES!!」取組開始 | トヨタ自動車主催による一般参加型社会貢献活動を開催 |
| | 「オスカ海岸林海岸林再生プロジェクト」 | NGO オスカによる名取地区の海岸林再生活動に支援を開始 |
| 2013 | ISO14001 更新審査（3回目） | 外部審査機関 JARI-RB による審査を受審 |
| 2014 | 仙山テクノクラフト(株)竣工 | 新社屋竣工に伴い 名取パーク店サイトより登録を分離 |
| 2016 | ISO14001 更新審査（4回目） | 外部審査機関 JARI-RB による審査を受審 |
| 2018 | ISO14001:2015 規格移行審査 | ISO14001 新規格による運用開始 |
| 2019 | ISO14001 更新審査（5回目） | 外部審査機関 JARI-RB による審査を受審 |
| 2020 | 新型コロナウイルス | 1月 国内で新型コロナウイルス感染が確認された |
| | ISO14001 定期審査 | ISO14001:2015 認証継続 |
| 2021 | ISO14001 定期審査 | コロナ禍により リモート審査受審 |
| 2022 | ISO14001 更新審査（6回目） | 外部審査機関 JARI-RB リモート審査を受審 |
| 2023 | ISO14001 定期審査 | ISO14001:2015 認証を継続 |



仙台トヨペット株式会社

ISO・CSR 推進事務局